

平成 30 年 11 月 15 日（木）

第 8 回 図書館ミニ講演会



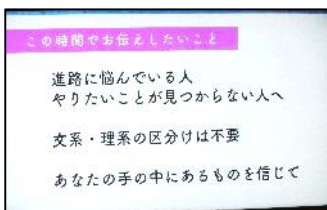
今回は、立科町役場企画課企画振興係の上前知洋さんをお迎えして、「タテシナソン？ 関西出身理系大学院生が、信州の町役場で地域おこしをするまでの話 ～進路はあなたの手の中に～」というテーマでお話をいただきました。



まずは、ご自身が関わる学生アイデアソン「タテシナソン」を説明。
全国から学生を募集し、28 時間かけて立科町を盛り上げる方法を考えてもらいます。そこで生まれたアイディアをプレゼンテーションし、地元の事業主さんたちをうならせることができれば、商品化など具体的な地域振興策につなげていくことができる、というもの。

「公務員って、一日中机の前に座って 9 時 5 時で働く、つまらない仕事だと思いませんか？」
いやいや、これは実に楽しそう。「これも公務員の仕事なんです！」

ちなみに上前さんを紹介してくれた本校職員によると、彼は「バリバリの理系」とのこと。バリバリ理系人間の彼がなぜ、地方自治体で地域振興を仕事にしているのでしょうか？



10 代の頃に「人間工学」というものを知り、それを学びたくて信州大学に入学。そこで「人と人が触れ合うことで価値が生まれる」とことに気づき、大学院生のときに、絵本を作る学生ベンチャーを起業。その後、一度は長野県職員になるものの、縁あって立科町役場に転職し、

今に至ります。

わくわくするお話は一旦 5 時で終了。その後は、放送部のインタビュータイムに。用事があって参加できなかった人や課題研究で地域振興をテーマにしている人も交えての座談会になりました。上前さんは講演を再演しつつ「これはさっき言わなかったんだけど」と、おまけ情報まで……充実した時間になりました。



【アンケートより】

- ・進路は偶然の連続という言葉がすごく印象に残りました。悩んでいたことが軽くなりました。講演会に来て本当によかったです。講演会を開いてくださり、ありがとうございました。
- ・公務員の仕事について、イメージをあらためることができました。タテシナソンも楽しそうで、大町でもやってみたいと思いました。
- ・先生のお話をきいていて（私は途中から参加しましたが）“魅力”の大切さをとても感じる事ができました。“魅力”ある人、物、場所には自然と人が集まってくるのだと思います。大町市もそんな魅力ある町にしていきたいです。私も魅力ある人になりたいです。

★次回は、下川先生によるクリスマスミニ講演会です。12 月 14 日も楽しみに！